

## 平成 26(2014)年度事業報告書の概要

### 1. 設置する学校・学部・学科等

- (1) 宮崎国際大学 国際教養学部 比較文化学科
- (2) 宮崎学園短期大学 保育科, 初等教育科, 音楽科, 人間文化学科  
専攻科 (福祉専攻), 専攻科 (音楽療法専攻)
- (3) 宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園
- (4) 宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園
- (5) 宮崎学園高等学校 特進科, 普通科, 音楽科, 経営情報科
- (6) 宮崎学園中学校

### 2. 学部・学科等の入学定員・学生数の状況

#### (1) 宮崎国際大学

年次	学部・学科 (専攻)	入学定員	入学者数	平 26.5.1 現在 在籍数
1	国際教養学部(比較文化学科)	100	53	58
	教育学部(児童教育学科)	50	27	27
2	国際教養学部(比較文化学科)	—	—	82
3	〃	10	0	62
4	〃	—	—	64
合 計		160	80	293

※ 3 年次編入学定員 10 人

#### (2) 宮崎学園短期大学

年次	学 科	入学定員	入学者数	平 26.5.1 現在 在籍数
1	保 育	210	227	227
	現代ビジネス	50	44	44
	小 計	260	271	271
2	保 育	—	—	222
	人 間 文 化	—	—	46
	初 等 教 育	—	—	23
	音 楽	—	—	8
	小 計	—	—	299
年次	専 攻 科	入学定員	入学者数	平 26.5.1 現在 在籍数
	福 祉	50	43	43
	音 楽 療 法	10	9	9
	小 計	60	52	52
合 計		320	323	622

## (3) 宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園

年次	区 分	収容定員	入園者数	平 26.5.1 現在 在籍数
	年 少 (3 歳児)	—	21	41
	年 中 (4 歳児)	—	13	73
	年 長 (5 歳児)	—	0	54
合 計		240	34	168

## (4) 宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園

年次	区 分	収容定員	入園者数	平 26.5.1 現在 在籍数
	年 少 (3 歳児)	—	26	46
	年 中 (4 歳児)	—	11	56
	年 長 (5 歳児)	—	2	55
合 計		180	39	157

## (5) 宮崎学園高等学校

年次	学科 (専攻)	入学定員	入学者数	平 26.5.1 現在 在籍数
1	特 進	100	72	73
	普 通	180	145	144
	音 楽	30	20	20
	経営情報	80	54	55
	小 計	390	291	292
2	特 進	—	—	68
	普 通	—	—	162
	音 楽	—	—	15
	経営情報	—	—	64
	小 計	—	—	309
3	特 進	—	—	75
	普 通	—	—	194
	音 楽	—	—	25
	経営情報	—	—	61
	小 計	—	—	355
合 計		390	291	956

## (6) 宮崎学園中学校

年次	区 分	収容定員	入学者数	平 26.5.1 現在 在籍数
1		40	65	65
2		40	—	41
3		40	—	42
合 計		120	65	148

総在籍数	2,344
------	-------

### 3. 役員・評議員・教員（学校長名等）・職員の人数（平成26年5月1日現在）

(1) 役員

理事 7人（うち、理事長1人、常勤理事5人）  
監事 2人

(2) 評議員

17人（うち、7人については理事を兼ねる）

(3) 教員

宮崎国際大学 第3代学長：永田雅輝（平成25.4.1就任）

区分	専任					計	兼任	合計
	教授	准教授	講師	助教	助手			
国際教養学部	11	13	9	0	0	33	3	36
教育学部	4	4	2	1	0	11	4	15
合計	15	17	11	1	0	44	7	51

宮崎学園短期大学 第6代学長：山下忍（平成19.4.1就任）

区分	専任					計	兼任	合計
	教授	准教授	講師	助教	助手			
保育科	7	4	7	1	0	19	34	53
初等教育科	2	1	1	0	0	4	4	8
音楽科	2	1	2	0	0	5	17	22
人間文化学科	2	0	2	0	0	4	6	10
現代ビジネス科	2	0	2	0	0	4	7	11
合計	15	6	14	1	0	36	68	104

※教授欄には、学長、副学長を含む。保育科には専攻科の3人を含む。

※兼任欄は、後期及び集中講義担当を除く。

宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園 第7代園長：和田政吉（平成22.4.1就任）

区分	専任			計	兼任	合計
	園長	主任教諭	教諭			
	※	1	8	9		

※園長は、宮崎学園短期大学の保育科准教授を含む。

宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園 第9代園長：吉村久美子（平成26.4.1就任）

区分	専任			計	兼任	合計
	園長	主任教諭	教諭			
	※	1	7	8	12	20

※園長は、宮崎学園短期大学の保育科講師を含む。

宮崎学園高等学校 第14代校長：寺田建一（平成24.4.1就任）

区分	専任					計	兼任	合計
	校長	副校長	教頭	教諭	その他			
	1	1	1	62	2	67	39	106

※その他には、外国人講師1人、養護教諭1人。中学校との併任除く。

宮崎学園中学校 第2代校長：寺田建一（平成24.4.1就任）

区分	専任			兼任	合計
	校長	副校長・教頭	教員		
	※	1	6	7	9

※校長は、宮崎学園高等学校の校長欄を含む。高校との併任除く。

(4) 職員

	常勤職員	非常勤職員	合計
法人本部	5	0	5
宮崎国際大学	12	0	12
宮崎学園短期大学	15	2	17
附属みどり幼稚園	1	0	1
附属清武みどり幼稚園	1	2	3
宮崎学園図書館	4	3	7
宮崎学園高等学校	7	0	7
宮崎学園中学校	0	0	0
合計	45	7	52

※高等学校事務室は中学校を兼ねる。

4. 建学の理念・教育目標等

宮崎学園は、建学の精神「礼節・勤労」のもと、高等学校や短期大学において長年にわたり地域に密着した職業人の育成に力を注いできたが、平成6(1994)年度には高学歴社会、国際化、情報化の時代的背景に即応すべく、世界を舞台に活躍できる国際人を育成する大学を開学させた。

建学の精神「礼節・勤労」は、人が社会の中で生きていくために必要な基本的理念であるため、時代の変化によってその重要性が失われることはない。宮崎学園の教職員や生徒等が建学の精神に基づく教育活動を日々実践することによって、「宮崎学園ブランド」の確立に取り組む。

○宮崎国際大学

目的：国際教養学部は、大学の目的に沿って、内外の文化、社会と英語に通じた国際人の養成を目的とする。

教育学部は、大学の目的に沿って、高い教養に基づく教育の専門的スキルを備えた人材の養成を目的とする。

目標：退学者ゼロ、就職率100%、TOEIC700点以上

○宮崎学園短期大学

目的：一般教養と密接な関連のもとに実際的な専門学術の理論及び職業スキルを教授研究して、社会人類の福祉に貢献する人物を育成することを目的とする。

目標：①自他を大切にし、礼儀正しく行動できる。(礼節、人間尊重の精神)

②自己と環境をより良くできる。(勤労、問題解決力)

③適切に情報を集め、しっかり考え、それを分かりやすく説明できる。(リテラシー)

④多様な人々とコミュニケーションをとり、協力できる。(協働力)

⑤大学で学ぶ専門的知識やスキルを実際場面に活用できる。(実践力)

### ○宮崎学園図書館

目的：「学習・情報センター」「読書センター」として、教育や研究、娯楽に必要な図書・情報の収集に努め、学生や教職員、地域の人々の活用に資する。

- 目標：①学生や教職員、地域の人々の要望を把握し、図書や情報の収集に努める。  
②出来る範囲でラーニング・コモンズの考えに沿った図書館運営を目指す。  
③数値目標を設定し、その達成に向けて工夫をしていく。

### ○宮崎学園高等学校

目的：中学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、高等普通教育及び専門教育を施すとともに、建学の精神「礼節・勤労」に基づく、心身ともに健全で、思いやりと優しさを持った豊かな人間性の育成を図ることを目的とする。

目標：全生徒の学力向上

### ○宮崎学園中学校

目的：小学校教育の基礎の上に宮崎学園の建学の精神「礼節・勤労」を旨としながら、心身ともに健康で自主的精神に充ちた人格の完成をめざすとともに、国際社会に対応できる基礎的な知識、技能及び態度を身につけた有能な人材の育成を図ることを目的とする。

目標：落ち着いた・確かな見届け・最後まで寄り添う教育

### ○宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園

目的：幼児を保育し適当な環境を与えてその心身の発達を助長することを目的とする。

目標：きまりよく（しつけの教育と生活指導）・なかよく（和の教育）・  
ありがとう（感謝の気持ちを養う）

### ○宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園

目的：幼児を保育し適当な環境を与えてその心身の発達を助長することを目的とする。

目標：きまりよく（しつけの教育と生活指導）・なかよく（和の教育）・  
ありがとう（感謝の気持ちを養う）

## 5. 法人の沿革

昭和 14 年(1939)	宮崎女子商業学院，宮崎高等裁縫女学校設立(創立者:大坪資秀) 両校合併，宮崎女子実践商業学校と改称
昭和 20 年(1945)	中学校令により宮崎実践女子商業学校と改称
昭和 23 年(1948)	新学制に基づき，宮崎女子中学校設置，同校に専門部を併設
昭和 24 年(1949)	宮崎女子中学校専門部を宮崎高等実業学校と改称
昭和 26 年(1951)	宮崎高等実業学校を宮崎女子高等商業学校と改称
昭和 27 年(1952)	新制高等学校令により宮崎女子商業高等学校設置（宮崎女子高等商業学校廃止）
昭和 30 年(1955)	宮崎女子商業学校を宮崎女子高等学校と改称
昭和 35 年(1960)	宮崎みどり幼稚園設置
昭和 40 年(1965)	宮崎女子短期大学設置（保育科） 宮崎みどり幼稚園を宮崎女子短期大学附属みどり幼稚園と改称
昭和 41 年(1966)	宮崎女子短期大学に国文科設置
昭和 42 年(1967)	宮崎女子短期大学に初等教育科設置

	宮崎女子短期大学附属清武みどり幼稚園設置
	宮崎女子中学校廃止
昭和 43 年(1968)	宮崎女子高等学校に音楽科設置
昭和 45 年(1970)	宮崎女子短期大学に音楽科設置
昭和 48 年(1973)	宮崎女子高等学校に情報処理科設置
昭和 56 年(1981)	宮崎女子専門学校開校
昭和 59 年(1984)	宮崎女子専門学校を宮崎学園技術専門学校と改称
昭和 61 年(1986)	宮崎女子短期大学に英語科設置
平成 2 年(1990)	宮崎女子高等学校商業科を国際情報科に改称 宮崎学園技術専門学校をオービック専門学校に改称
平成 5 年(1993)	宮崎女子高等学校に文英科設置
平成 6 年(1994)	宮崎国際大学開学 宮崎学園図書館・国際交流センター竣工
平成 10 年(1998)	宮崎女子短期大学に専攻科（福祉専攻）設置
平成 14 年(2002)	宮崎女子短期大学に専攻科（音楽療法）設置 宮崎女子高等学校文英科を特進科に改称
平成 15 年(2003)	宮崎女子高等学校を男女共学とし、宮崎学園高等学校に改称 宮崎学園短期大学国文科及び英語科を人間文化学科に改組転換
平成 18 年(2006)	宮崎国際大学比較文化学部を国際教養学部に変更
平成 19 年(2007)	宮崎学園高等学校情報処理科を経営情報科に改称
平成 20 年(2008)	宮崎女子短期大学を男女共学とし、宮崎学園短期大学に改称
平成 21 年(2009)	オービック専門学校廃止 宮崎学園中学校開校
平成 26 年(2014)	宮崎国際大学に教育学部児童教育学科設置 宮崎学園短期大学に現代ビジネス科設置
平成 27 年(2015)	宮崎学園短期大学の初等教育科・音楽科・人間文化学科廃止

## 6. 事業の概要

(1) 学園の情報開示については、各学校のホームページに掲載しており、下記の平成 25(2013)年度財務書類等も公開しています。また、各学校事務室に備えられた財務書類等も閲覧することができます。

○平成 25(2013)年度決算の概要

資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表

○平成 25(2013)年度事業報告書の概要

設置する学校・学部・学科等

学部・学科等の入学定員・学生数の状況

役員・評議員・教員・職員の数（平成 25 年 5 月 1 日現在）

事業の概要

(2) 大学では、平成 26(2014)年 4 月 1 日付けで教育学部児童教育学科（入学定員 50 人）を設置しました。また開学 20 周年にあたり、平成 26(2014)年 6 月 22 日には式典及び記念講演会が行われ、『大学考』（大坪久泰初代学長著 文藝春秋社）の記念出版や「創立 20 周年記念誌」が発行されました。

(3) 大学では、文部科学省大学改革推進事業：大学教育再生加速プログラム（5 年間の補助事業）に採択され、平成 26(2014)年 10 月 18 日には「少人数制アクティブ・ラーニング（AL）によ

る国際的リベラル・アーツ教育の展開」と題して、キックオフシンポジウムが開催されました。

- (4) 短期大学では、平成 26(2014)年 4 月 1 日付けで現代ビジネス科（入学定員 50 人）を設置しました。また、平成 26(2014)年度末に初等教育科（入学定員 50 人）、音楽科（入学定員 30 人）、人間文化学科（入学定員 90 人）を廃止しました。
- (5) 短期大学の校舎改築工事については、平成 27(2015)年 3 月に 3 号館解体に着手しました。新館建築、1・2 号館解体及び外構工事が続き、平成 28(2016)年 11 月に竣工予定です。
- (6) 短期大学学生寮は、平成 26(2014)年度末に廃止となりました（輒 25.5.28 平成 25(2013)年度第 1 回理事会承認）。
- (7) 大学及び短期大学においては、改正学校教育法の施行に伴い、学則及び学内諸規程について所要の整備を行いました。
- (8) 高等学校では、音楽科の平成 27(2015)年度入学生からの募集停止に伴い、普通科に新たに芸術コース（音楽系・書道系・美術系）を設け、3 コース制〔総合進学／芸術／幼児保育〕とすることとなりました。あわせて普通科の入学定員増（180 人→210 人）については、平成 27(2015)年 3 月 20 日付けで県知事認可を受けました。
- (9) 中学校では、平成 21(2009)年度開学時からの入学定員 40 人を平成 27(2015)年度から 70 人に増員することについて学則変更認可申請を行い、平成 26(2014)年 7 月 23 日付けで県知事認可を受けました。
- (10) 短期大学附属みどり幼稚園及び清武みどり幼稚園では、平成 27(2015)年度からの国の子ども子育て支援新制度による「施設型給付を受ける幼稚園」への移行準備を行いました。
- (11) 人材育成制度（A&A チェック）に基づき、平成 26(2014)年度は処遇（勤勉手当）に反映させる制度が開始されました。
- (12) 各学校の事業計画は PDCA によって履行状況を管理することとし、法人本部と各学校（大学・短期大学・中高校）との定例会議において毎月の状況が報告されました。また、平成 26(2014)年度の年間 PDCA については、平成 27(2015)年 4 月末に各学校から法人本部に提出される予定です。
- (13) 平成 27(2015)年 3 月 11 日、学園全体の常勤教職員が一堂に会して合同 FD・SD 研修会（大坪記念ホール）を開催しました。第 1 回となった合同研修会は、「全生徒等の学力向上」をテーマに、各学校の代表者が学力向上へ向けた特色ある取組について事例発表を行いました。
- (14) 雇用期間満了予定の教職員を対象に、定年制雇用教職員の平成 27(2015)年度採用試験を実施し、4 人（中高校教諭 2・幼稚園教諭 2）を採用しました。
- (15) 平成 26(2014)年度末は、早期退職勧奨制度による退職希望が 2 人（短大教員 1・高校教諭 1）ありました。

## 7. 主な事業の目的・計画及び進捗状況

### 法人本部

平成 26(2014)年度の行動計画については、次の通り履行しました。

#### (1) 事業計画・事業報告書

平成 25(2013)年度事業報告書は、各学校から法人本部への提出期限を平成 26(2014)年 4 月 14 日とし、平成 25(2013)年度決算と共に事業の実績として、平成 26(2014)年度第 1 回理事会（第 1 回評議員会）に付議し、承認されました。

平成 27(2015)年度事業計画書は、各学校から法人本部への提出期限を平成 26(2014)年 11 月 30 日としました。各学校の教育活動等については具体的な数値目標を上げることが課題としました。また、同時に平成 27(2015)年度の予算編成のための各学校ヒアリングを実施しました。

平成 27(2015)年度事業計画は予算と共に平成 26(2014)年度第 5 回評議員会（専 27.2.10 開催）にて意見を聴取し、同日開催された第 5 回理事会において承認されました。

#### (2) 平成 26(2014)年度の監査

第一次監査（学内）は、平成 26(2014)年 4 月末日までに各学校で実施され、5 月末日までに法人本部に内部監査報告書が提出されました。

法人監事による第二次監査は、事前に「監事監査質問票」が各学校に配付され、受検体制を整えたうえで、下記の通り実施されました。

平成 26(2014)年 8 月 22 日 中学校・高等学校／みどり幼稚園

8 月 23 日 大学／清武みどり幼稚園

8 月 27 日 短期大学／宮崎学園図書館

監事監査の指摘事項については、平成 26(2014)年 8 月 29 日付けで通知され、同年 10 月末日までに改善履行状況の報告が提出されました。

#### (3) 幹部教職員の研修

4 月当初の幹部連絡会議にて勤務時間の管理、各種管理者（防火管理者・衛生管理者・安全運転管理者等）の届出、次世代育成支援推進法に基づく行動計画等についての説明を行いました。また、6 月には学園の財務状況についての理解を深めるため、平成 25(2013)年度決算の概要について説明を行いました。

#### (4) 人材育成制度（A&A チェック）

平成 26(2014)年度については、下記の通り実施しました。また、人材育成制度を含む総合的な評価によって勤勉手当の加算を行いました。

平成 26(2014)年 4 月 1 日 平成 26(2014)年度チェック開始

①教職員に「人材育成制度の本格実施について」を配付

②年度当初（6 月末まで）に教職員の面談

平成 27(2015)年 1 月 31 日 平成 26(2014)年度チェック終了

①平成 27(2015)年 2 月 1 日付けで平成 26(2014)年度 A&A チェック表作成

②教職員に A&A チェック表を開示し、面談指導

③平成 27(2015)年 2 月末日までに理事長に提出

(5) 法改正等に伴う諸規程の整備

改正労働契約法（平成 26(2014)年 4 月 1 日施行）については、就業規則（常勤・非常勤）や関係規程について無期転換権等の所要の変更を行い、平成 27(2015)年 4 月 1 日施行としました。

改正男女雇用機会均等法施行規則（平成 26(2014)年 7 月 1 日施行）については、改正の趣旨に沿ってセクシュアルハラスメントの防止に係る掲示物の改訂を行いました。

次世代育成支援対策推進法については、平成 27(2015)年度以降 10 年間の新・一般事業主行動計画の策定を行い、平成 27(2015)年 4 月 1 日施行に備えました（平成 26(2014)年度第 6 回理事会承認）。

改正パートタイム労働法（平成 27(2015)年 4 月 1 日施行）については、「相談窓口」の明示について雇用契約書の改訂を行いました。

障害者雇用については、平成 26(2014)年 6 月 1 日現在の実雇用率が 1.68 %（前年 3.38 %）となり、法定雇用率を下回りましたが、同年度末までには法定雇用率を充足しました。

改正学校法人会計基準（平成 27(2015)年 4 月 1 日施行）については、各学校の会計担当者対象の研修会を行い、所要の規程変更を行いました。また厳しい財政状況の改善策として、平成 26(2014)年度給与改定等を実施しました。

(6) 役員改選

平成 26(2014)年度末任期満了により、山下忍理事・評議員（短期大学長）及び寺田建一理事・評議員（中高校長）が退任し、平成 27(2015)年 4 月 1 日付けで宗和太郎短期大学長及び吉村久美子中高校長が後任理事・評議員に選任されました（平成 26(2014)年度第 6 回理事会・評議員会承認）。

(7) 所属長の変更

平成 26(2014)年度末任期満了等により、山下忍短期大学長及び寺田建一中高校長が退職し、平成 27(2015)年 4 月 1 日付けで短期大学長に宗和太郎氏（短期大学副学長）、中高校長に吉村久美子氏（清武みどり幼稚園長）、清武みどり幼稚園長には富高令子氏が選任されました（平成 26(2014)年度第 5 回理事会承認）。

(8) 教職員配置

大学及び短期大学所属の教員については、平均より少ない担当授業時数を一定の時間数にするため、平成 27(2015)年度に向けて両大学相互に併任の発令を行う調整を行いました。

(9) 短期大学校舎改築に係る補助金申請

短期大学校舎改築については、平成 26(2014)年度私立学校施設整備費補助金に申請し、平成 27(2015)年 3 月 20 日付けで文部科学省から交付決定通知を受けました。

(10) 短期大学附属みどり幼稚園園舎の増築

みどり幼稚園については、平成 28(2016)年度から「幼保連携型認定こども園」に移行する計画です。これに伴い、3 歳未満児受け入れのための園舎増築（調理室・ほふく室等）について、基本計画・基本設計を進めました。また、「安心こども基金」を活用する施設整備に申請し、平成 27(2015)年 1 月 22 日付けで宮崎市から事業選定の通知を受けました。

なお同時に計画していた清武みどり幼稚園の認定こども園への移行については、平成 29(2017)年度に延期することになりました。